

気を引き締め、

さらに高い防災意識を

第63回益城町消防団出初式

新春の恒例行事となっている益城町消防団出初式が1月15日、町総合体育館で開催されました。未だ震災の影響が残る中、今回は、例年行われている分列行進や通常点検などは行わず、終始厳粛に執り行われました。

開式後、国歌斉唱に続き、昨年の熊本地震により犠牲になられた方々および殉職消防団員に対して、一同で黙とうを捧げました。

式辞で西村町長は、「発災時、崇高な使命と強い責任感のもと、いち早く現場に駆けつけ、多くの人命を救助いただくなど、町民の安心・安全を最大限に守っていただいたことに心から感謝します。地域防災組織づくり、今回のような大災害への備えなど、その一翼を担っていただく団員には、活動の重要性を深く認識したうえ、日ごろの訓練に励み、新たな決意をもって一層精進いただきたい」と団員を激励しました。

続いて、本田寛団長が「地震を受けたわが町の現在の状況にお

も全団員が防災への高い知識を持ち、常備消防と連携を図りながら予防消防に努めていきたいので、協力をお願いします」と訓示しました。益城町消防団には、熊本地震におけるその献身的な活動による地域の安心安全確保と地域防災体制の充実に寄与した功績に対して、昨年12月20日、総務大臣から感謝状が贈られています。

いて、火災を含む災害は、いつ・どこで・何が起こるか分かりません。今一度気を引き締めて、町民の生命、身体、財産を守るという崇高な使命のもと、町民の付託に応えられるよう、今後

【表彰】

◆総務大臣表彰 益城町消防団

◆県消防協会長表彰 勤績章(消防歴 15年) …敬称略

第1分団▶北森智孝、佐藤優輝、松野浩司、山本崇正
徳尾真龍、上田盛高、森崎大輔、森上裕裕

第2分団▶森重拓実、野尻勝之、和泉雄二、田端啓一
田端龍一、川崎秀一、岩下優樹、守山純一
屈岡亨、内山竜治

第3分団▶中村誠希、田上佳志

第4分団▶荒川和芳

第5分団▶永野隆信、前田幸輝、甲斐雅巳、早野隆洋
畑野健太郎、嶋田祐也、石坂幸司、嶋村昌樹、水村賢正、下田和彦



1 分団長の掛け声により機敏な動きで整列する団員

2 出初式には欠かせない消防音楽隊の演奏

3 町長から総務大臣感謝状の伝達を受ける本田団長以下団員たち